

2019年度環境経営活動レポート

(2018年10月から2019年9月まで)



株式会社りんくう北中

作成日：2019年11月20日

株式会社りんくう北中

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社りんくう北中は、地球温暖化・オゾン層破壊・酸性雨等の環境問題が年々深刻化していることを認識し、事業活動を通して、環境負荷を少しでも抑えるべく省エネルギーやリサイクル、クライアントの環境経営の貢献などを広く総合的な環境経営に取り組めます。

<環境経営活動方針>

1. 事業活動にかかわる環境関連の法規・条例及び当社が約束した要求事項を遵守します。
2. 当社のすべての事業活動において環境に与える負荷を削減するため、環境目標を定め、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ①二酸化炭素の削減
 - ②水資源の削減
 - ③廃棄物の削減
 - ④化学物質の適正な管理
 - ⑤グリーン購入の推進
 - ⑥環境配慮サービスの推進
3. 環境マネジメントシステムを導入し、環境経営の継続的な改善に努めます。
4. 環境経営への取り組みを環境経営活動レポートとしてとりまとめ公表します。
5. この環境経営方針は全従業員に周知するとともに、社外へも公表します。

制定日：2014年10月1日

改定日：2019年 8月1日

株式会社りんくう北中

代表取締役 菊川 眞康

□登録事業所の概要



(1) 事業所名及び代表者名
株式会社 りんくう北中
代表取締役 菊川 眞康

(2) 所在地
本社:大阪府泉佐野市下瓦屋5丁目2番8号
大阪支店:大阪市東成区深江北1丁目3番1号ツカサロイヤルビル301
岸和田支店:大阪府岸和田市五軒屋町6-11
貝塚営業所:大阪府貝塚市澤156番地
阪南営業所:大阪府阪南市黒田84-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 営業部 課長 山田 勝毅
環境管理担当者 業務部 助野 光
本社TEL:072-464-8807 FAX:072-464-9078

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)
総合ビルメンテナンス業(清掃業務、警備業務、設備管理業務、リース業務)

(5) 事業の規模

	本社	大阪支店	岸和田支店	貝塚営業所	阪南営業所
延べ床面積	126㎡	80㎡	80㎡	47㎡	72㎡
社有車台数	7台	0台	0台	0台	0台

※上記短時間労働者含む 常勤雇用人数は52人

(6) 事業年度 10月～9月

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	kg-CO/年	22,528	24,288	23,373
一般廃棄物量排出量	kg/年	369	369	363
総排水量	m ³ /年	85.0	85.0	81.5

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:株式会社りんくう北中

活動:全組織・全活動



□環境経営目標及びその実績



項目	年度	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量	(kg-CO ₂)	3,214	3,182	3,015	3,150	3,118	3,085
基準年比			99%	94%	98%	97%	96%
ガソリンの二酸化炭素排出量	(kg-CO ₂)	21,053	20,842	20,336	20,632	20,421	20,211
基準年比			99%	97%	98%	97%	96%
二酸化炭素排出量合計	(kg-CO₂)	24,267	24,024	23,351	23,782	23,539	23,296
一般廃棄物	(kg)	369	365	363	362	358	354
基準年比			99%	98%	98%	97%	96%
水道水	(m ³)	85.0	84.2	81.5	83	82	82
基準年比			99%	96%	98%	97%	96%
グリーン購入	(点数)	290	293	341	296	299	302
基準年比			101%	118%	102%	103%	104%
地域環境保全活動	(回数)	61	62	61	62	63	63
基準年比			102%	100%	102%	103%	104%

(注)産業廃棄物はありません。

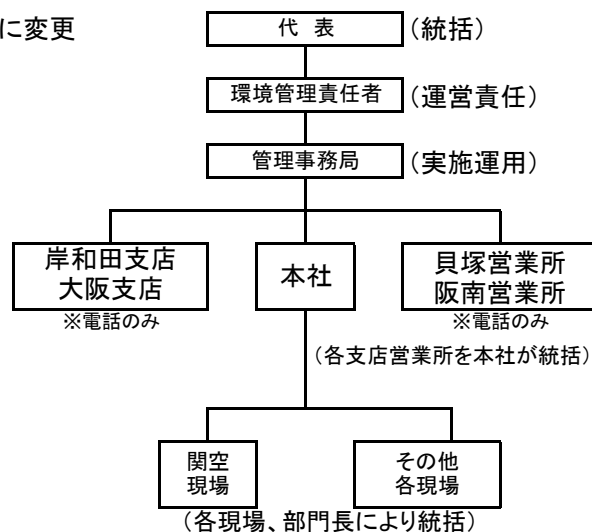
(注)電力の二酸化炭素排出係数は0.418(kg-CO₂/kWh)を使用 (関電/2018年度/調整後)

※地域環境保全活動については 月4回(会社周辺清掃)+その他のクリーン活動:48回+αとする。

「環境活動の取り組み計画と評価」参照

【環境経営システム組織図】

※2019年度より
基準年度を2014年度→2018年度に変更



□環境経営活動の取り組み計画と評価



取 り 組 み 計 画	達 成 状 況			評 価(結果と今後の方向)
電力の削減 ●省エネ目標の説明 ●節電運動展開(不要照明の消灯) ●クールビズ運動(ノーネクタイの奨励) ●空調機の冷房28℃ 暖房22℃ ●未使用電気製品の電源オフ ●閑空事業所においても上記の運動を実施する	基準年度 今年度 目標 実績	3,214 3,182 3,015	kg-CO ₂ 99% 94%	○目標達成 パソコンから長時間離れる際に、スリープモードを徹底することにより、削減に成功し目標達成しました。
自動車燃料の削減 ●自動車燃費向上目標の説明 ●急加速・急停車防止(エコドライブシールの貼付) ●冷暖房の控え目使用(冷房28℃ 暖房22℃) ●車両運行記録簿により走行距離を記録 ●ハイブリッド車の購入(買換え時)	基準年度 今年度 目標 実績	21,053 20,842 20,336	kg-CO ₂ 99% 97%	○目標達成 作業、営業活動の増加により今年も使用量が増加してしまいました。しかし、乗り合わせをするなど、1日に稼働する台数を削減する工夫をし、少しではあるが削減に成功しました。
一般廃棄物の削減 ●一般廃棄物削減目標説明 ●ミスコピーの防止 ●帳票見直しによる印刷物の削減(電子ファイル化) ●FAX用紙の削減(PC-FAXを使用)	基準年度 今年度 目標 実績	369 365 363	kg-CO ₂ 99% 98%	○目標達成 丸1年リサイクルに取り組み効果は抜群でした。今後もリサイクルは継続し、廃棄物削減については改めて見直し、更なる削減に努めます。
水道水の削減 ●水道水削減目標説明 ●トイレ節水弁取り付け	基準年度 今年度 目標 実績	85.0 84.2 81.5	m ³ 99% 96%	○目標達成 5月以降、熱中症対策により社内で麦茶を作り、従業員に配るようになったため、基準年度(2017)に比べ削減率はマイナス。しかし9月～4月にかけて、約10%の削減に成功しているため目標達成しました。引き続き節水を徹底します。
グリーン購入 ●印刷・情報用紙のグリーン購入 ●トイレトペーパーのグリーン購入 ●文具・事務用品のグリーン購入	基準年度 今年度 目標 実績	290 293 341	点数 101% 118%	○目標達成 経費削減のため購入量が減っている中、基準年度(2017)の実績よりも3.6%増加しました。引き続きエコ商品を意識して購入していきます。また、今後は点数ではなく割合で表記していく。
地域環境保全活動 ●本社周辺の地域清掃(週1回) ●泉佐野市環境美化活動への参加(9月、2月)	基準年度 目標 実績	61 62 61	回数 102% 100%	×目標達成 年間実施予定計画に掲げた項目はわずかながら目標を達成できませんでした。泉佐野市の美化活動には引き続き参加します。
化学物質の適正な管理 ●適正な保管管理 ●現場使用時、安全衛生使用管理	目標設定なし			

□環境関連法規制等の順守状況



法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

遵守

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守
適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	○
廃棄物処理法	・産廃についてはマニフェスト発行により適正処理	○
悪臭防止法	・自社ビル	○
下水道法	・現在は公共河川へ放流	○
自動車 NOX・PM法	・ディーゼル車 (社有車0台のため該当なし)	○
自動車リサイクル法	・営業車7台	○
家電リサイクル法	・エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機	○
建築物衛生法	・ビル管理業務請負時	○
浄化槽法	・浄化槽本体	○
フロン排出抑制法	・業務用空調機	○
労働安全衛生法	・労働安全衛生上、月1労働衛生会議	○
消防法	・自社ビルおよび業務受注相手先ビル ・清掃剥離剤:ハクリスタープロ10(第4類第三石油類)	○
PRTR法	・清掃剥離剤:ハクリスタープロ10(2-アミノエタノール) ・現在不使用	○

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありません。

□地域環境保全活動を紹介



□泉佐野市環境美化活動への参加(9月、2月)

□地域ゴミ置き場の清掃(週1日)



□分別、リサイクルの取り組み



※コープいこらも～る泉佐野店に設置されているリサイクル回収に出している。



※泉佐野市内に設置されている古紙無料受入に出している。

今回は、数年悩んできた電力削減が、地道な節約により成果に現れたことが一番達成感がありました。

どれだけOA機器の電力消費量が多かったのかわかりました。大きく何か変えなければと、深く考えすぎていましたが、ちょっとした意識行動が最大の節約だと実感しました。

また、売上に対しての率は、すごく効果的に出ていると感じている。引き続きエコへの対応を徹底していく。

□次回環境活動レポート発行予定日

2020年11月